

平成29年度日本農学会シンポジウム

大変動時代の食と農

■日 時：平成29年10月14日（土）午前10時より（午前9時30分開場）
 ■会 場：東京大学弥生講堂
 （地下鉄 南北線「東大前」駅下車徒歩1分、千代田線「根津」駅下車徒歩8分）

■主 催：日本農学会
 後 援：東京大学大学院農学生命科学研究科，（公財）農学会

■主な対象：一般・学生・院生・若手研究者

■参加費：無料（定員300名）事前申込不要

■講演要旨：別売

■内 容：

近年、地球規模での気象異変による食料生産の不安定化、急増・流動化する世界人口と食料消費構造の変化、人類の生産活動によって引き起こされる環境問題など、さまざまな環境の変動が、農業・食料生産を脅かすようになっている。そこで、本シンポジウムでは、農・食の生産を脅かす地球規模の環境変動と、その克服・解決を目指した研究の取り組みを紹介し、大変動時代に農学が果たす役割を考える契機としたい。

■講演題目：

10:10 「降雨パターンの変動と林地災害の激甚化」

森林研究・整備機 森林総合研究所 大丸 裕武

10:50 「変動する海流システムと水産資源の持続可能性」

長崎大学水産学部 中田 英昭

11:30 「環境変動が雑草の生態や管理に及ぼす影響」

農研機構 農業環境変動研究センター 與語 靖洋

12:00 「地球温暖化によって果樹の栽培適地はどうかかわる？」

農研機構 果樹茶業研究部門 杉浦 俊彦

13:30 「塩からい水で魚と野菜を育てる-乾燥地での持続的な食料生産をめざして-」

鳥取大学農学部 山田 智

14:00 「地球温暖化から家畜生産を守る ～適応技術開発の取り組み～」

農研機構 畜産研究部門 永西 修

14:30 「パイプライン用水路が持つ夏季灌漑水温の上昇抑制効果」

農研機構 中央農業研究センター 坂田 賢

15:00 「増大する作物病害虫の新興リスクにどう立ち向かう？」

農研機構 中央農業研究センター 大藤 泰雄

15:30 「地球環境と食料・農業に関する国際的な科学と社会のコミュニケーション」

農研機構 農業環境変動研究センター 八木 一行

16:15 総合討論